

## 療育支援プログラム(放課後等デイサービス)

事業所名	児童発達支援センターKusuの木
作成年月日	令和6年4月1日
法人理念	地域の皆様を中心とし、健康と福祉に貢献いたします
支援方針	身近な療育の中核施設として、子どもファーストを常に意識した支援に取り組みます
営業時間	月～土 9:00～18:00
送迎の有無	なし

領域	支援内容	支援プログラム
健康・生活	# 健康状態の把握、健康の増進 # リハビリテーションの実施 # 生活環境の調整 	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎回の体温測定、手洗いやうがいを慣行し、健康の維持と増進を図ります。</li> <li>児童それぞれに適した身体的、精神的、社会的な訓練を提供します</li> <li>スケジュールやマットなどを用いて時間や空間を本人に分かりやすくなるよう構造化し、さまざまな活動を体験していける環境を整えます。</li> </ul>
運動・感覚	# 姿勢・運動・動作の向上 # 感覚の活用と特性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動や工作などの活動を通して、日常生活に必要な姿勢や動作の習得、筋力と巧緻性の維持・強化を図ります。</li> <li>視覚・聴覚・触覚など児童の保有する感覚を使った活動を提供し、感覚の偏り（感覚の過敏や鈍麻）への環境的な配慮を行います。</li> </ul>
認知・行動	# 概念の形成と活用 # 適切な行動の習得 	<ul style="list-style-type: none"> <li>日付・曜日・天気などを見てわかるよう提示し、情報の認知と概念の形成を図ります。また製作活動・ボールあそびなどを通じた空間の把握と数や大小、色、重さなどにかかる学習を促します。</li> <li>おにごっこや的当てなどのかんたんなルールあそびを通して、適切な行動の習得を促すとともに、活動環境やコミュニケーション場面を見直し、行動障害の予防に努めます。</li> </ul>
コミュニケーション	# 言語の形成と活用 # 適切なコミュニケーション手段の選択とコミュニケーション能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>相互的なやりとりの中でコミュニケーションの基礎を固めつつ、「要求」だけでなく、「傾聴」「報告」「観察」「模倣」など、より多彩で適切なコミュニケーションの学習を促します。</li> <li>ジェスチャーやカードなど、ことばだけによらない多様なコミュニケーション手段を使った意思伝達の方法を探ります。</li> </ul>
人間関係・社会性	# 他者との関わりのある活動の促進 # 自己理解とコントロール # 仲間づくりと集団への参加 	<ul style="list-style-type: none"> <li>役割分担や協力を要する集団活動を通して、ソーシャルスキルの習得を促します。</li> <li>他者との関わりや自己コントロールの力を基盤として、新しい仲間づくりや集団への主体的な参加を促します。</li> <li>集団内で生じるさまざまな人間関係において、自分も相手も大切にしたい行動選択ができるよう支援します</li> </ul>
その他	# 家族支援 # 移行支援 # 地域支援 # 質の向上に資する取り組み # 主な行事 	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭からのご相談に応じ、現状と課題、対応などについての助言を行います。</li> <li>中学校等への移行を支援し、他機関との連携を図ることで、希望する集団生活の実現を支援します。</li> <li>施設内外の研修を通じて、従業者の支援の質の向上に努めます。</li> <li>おやつ作り、季節の工作など。</li> </ul>